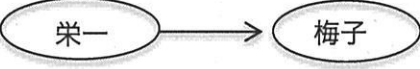
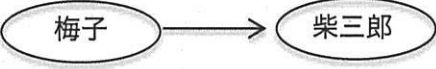


令和4年度

個別学力検査(後期日程)試験問題

【情報学群 知識情報・図書館学類】

区 分	
小論文	<p>問題 1</p> <p>問 1 <出題意図> 理解力を見る。</p> <p><解答例> 現代を生きる若者たちにとって、この問題は、津田梅子の婚姻関係の「情報不足」として捉えられる(45字)</p> <p>問 2 <出題意図> 論理的思考力、理解力、表現力を見る。</p> <p><解答例：理由> 梅子が結婚していない場合、結婚している栄一が結婚していない梅子を見ている。梅子が結婚している場合、結婚している梅子が結婚していない柴三郎を見ている。したがって、いずれの場合においても結婚している人がしていない人を見ているということが成立する。(121字)</p> <p><解答例：図></p> <p>梅子が結婚していない場合</p>  <pre> graph LR A(栄一) --> B(梅子) </pre> <p>梅子が結婚している場合</p>  <pre> graph LR C(梅子) --> D(柴三郎) </pre> <p>問 3 <出題意図> 論理的思考力、表現力を見る。</p> <p><答え> C</p> <p><解答例> 梅子が犬か猫の少なくともどちらかを飼っていれば答えはAになるが、その情報はない。結婚はしているかいないかの二つに一つだが、犬と猫はいずれも飼っていないという可能性もあるという点で性質が異なり、梅子の情報がなければ答えられない。(113字)</p>

問 4

<出題意図>

論理的思考力、理解力、表現力、発想力を見る。

<解答例：著者の意見に賛成する例>

私は著者の意見に賛成である。著者が言う「情報がないまま考えることを想像も我慢もできない」というのは、何かの問題を解決しようとする時に「わからない」と感じることを、瞬間的に「情報不足」と置き換えて考え、また、それを当然のこととして疑いもしない傾向のことを指している。確かに、私たちは何かわからないことがあったときに「調べなさい」と教わってきており、調べるためのツールであるスマホやタブレットが手近にあるので、それで情報不足を補って「わかった」と思うということを当たり前のように行っている。その意味で、著者の指摘は私たちの行動原理を正しく言い当てていると考えるからである。ただし、これは、私たちが情報検索のツールを持たないかぎり「考える」ことができなくなっていること、すなわち能力の低下を指摘している意見ともとれる。私たちは、「情報がないまま考える」ことをもっと意識的に行っていく必要があると考える。(398字)

<解答例：著者の意見に反対する例>

私は著者の意見に反対である。著者は、私たちが「わからない」と感じるとき、それを情報の欠損だととらえ、検索して埋めようとする、と主張し、そこから、情報がないまま考えることを想像も我慢もできない時代を生きていると結論付けている。その根拠は、授業中に出した論理パズルを津田梅子の婚姻関係に関する情報不足ととらえてネットで検索した学生がいたからである。しかし、この事例で問題となるのは、この学生が「情報がないと答えられない」と考えて「ネットをググった」ことよりむしろ、欠損していると思われる情報を埋めただけでこの論理パズルを解けたと思い込んでしまったところにある。確かに、この事例のように情報を得たことで答えを得たと勘違いしてしまうことはあり得るが、それは必ずしも「情報がないと考えられない」ということを意味しない。真に問題であるのは、「考える」ことを「情報を得る」と勘違いしてしまうことである。(396字)

問題 2

問 1

<出題意図>

論理的思考力、理解力、表現力を見る。

<解答例>

- (1) 化石燃料やセメントなどの炭素排出量をゼロにするために必要となる追加コスト (36字)
- (2) ・1年間に空气中に排出される二酸化炭素の地球規模の量(トン)
・空气中の二酸化炭素1トンを吸収するコスト

問 2

<出題意図>

論理的思考力、理解力を見る。

<解答例>

1. 第1の方法：バイオ燃料の方法

(計算過程)

$1000 \text{ 万 (トン)} \times 20\% \times 400 \text{ (リットル/トン)} \div 4 \text{ (リットル/ガロン)} = 2 \text{ 億 (ガロン)}$

$2 \text{ 億 (ガロン)} \times 3.13 \text{ (ドル/ガロン)} = 6.26 \text{ 億 (ドル)}$

(答え) グリーンプレミアム = 6.26 億 (ドル)

2. 第2の方法：DACの方法

(計算過程)

$1000 \text{ 万 (トン)} \times 20\% = 200 \text{ 万 (トン)}$

$200 \text{ 万 (トン)} \times 100 \text{ (ドル/トン)} = 2 \text{ 億 (ドル)}$

(答え) グリーンプレミアム = 2 億 (ドル)

※2つの異なる方法について説明してあれば、解答の順序は問わない。

問3

<出題意図>

表現力、発想力を見る。

<解答例>

学校生活ではレポートを書く際に文献を調査する必要がある。調査した文献を読むために紙に印刷すると、紙を捨てて燃やす際に二酸化炭素が生じる。オンラインで文献を読むようにすれば、燃えるごみは生じないものの、文献を読むための端末を用意する点でグリーンプレミアムがかかる。グリーンプレミアムを減らすには、二酸化炭素の排出量を削減するために可能な取り組みについて知人と情報を共有することが考えられる。たとえば上記の問題では、文献を読むための端末の必要性について、友人あるいは学校の先生に相談して協力することができれば、文献を読むための端末を共有することによりグリーンプレミアムを減らすことが期待できる。(295字)